

# 一般演題ポスター発表・討論 No. P-01～P-20

11月13日(金) 10:30-11:15 奇数番号、11:15-12:00 偶数番号

No.	タイトル	発表者	所属
P-01	STYK1を介した腫瘍形成に伴うがん悪性化機構の解析	山田 実里	香川大学・農学部・応用生物科学
P-02	ERK経路の異常活性化により発現誘導される新規遺伝子の同定および機能解析	高木 祐輔	東京大学医科学研究所 分子シグナル制御分野
P-03	カスパーゼ依存的な蛋白質切断を介したERKシグナルの新規活性制御機構	久保田 裕二	東京大学医科学研究所 分子シグナル制御分野
P-04	発癌シグナルによるp38/JNK経路活性化の分子機構の解明	川瀧 紗英子	東京大学医科学研究所 分子シグナル制御分野
P-05	口腔がん悪性度に関与するDLEU1の作用機構の解明とその臨床応用	新沼 猛	札幌医科大学 医学部 分子生物学講座
P-06	患者由来がん細胞株を用いた未分化多形肉腫のキナーゼ活性およびキナーゼ阻害剤の統合解析	申 育實	国立がん研究センター研究所 希少がん研究分野
P-07	AEBP1の発現上昇は大腸がんの腫瘍血管新生を促進する	山本 英一郎	札幌医科大学・医学部・分子生物学講座
P-08	粘表皮癌における特徴的な糖鎖を有するMUC1の発現と局在	杉浦 貴則	東京歯科大学 口腔腫瘍外科学講座
P-09	患者由来「肉腫」モデルの樹立:機能的なオミクスデータの解釈に向けて	吉松 有紀	国立がん研究センター研究所 希少がん研究分野
P-10	ATAC-seq解析を用いた乳癌のエピゲノム多様性の評価の試み	丸山 玲緒	国立がん研究センター研究所・NEXT-Ganken, がんエピゲノム
P-11	肉腫の組織型に特徴的な発現パターンを示すmiRNAの同定	土屋 流人	国立がん研究センター研究所 希少がん研究分野
P-12	再発性多発軟骨炎のバイオマーカー候補となる血清ペプチドの検出	黒川 真奈絵	聖マリアンナ医科大学大学院 疾患バイオマーカー・標的分子制御学
P-13	セルロースアセテート膜電気泳動法を用いた尿エクソソーム蛋白質の解析	新井 千花	埼玉県立大学大学院・保健医療福祉学研究科
P-14	走査検出キャピラリー等電点電気泳動装置による抗体医薬の等電点バリエーション解析	志村 清仁	エースバイオアナリシス株式会社, 福島医大・医
P-15	非変性条件の等電点電気泳動により単離されたインタクトのリゾチームの酵素による活性変化	藪 隼大	愛媛大学・理学部化学科
P-16	LD活性測定におけるH型およびM型サブユニットの反応性の相違	田中 満里奈	埼玉県立大学大学院・保健医療福祉学研究科
P-17	ブタプロテインジスルフィドイソメラーゼ-P5は弱い疎水性相互作用により二量体を形成する	副島 龍之介	千葉大学大学院・融合理工学府
P-18	アガロース二次元電気泳動法を用いた頭足類筋肉タンパク質成分の部域差および種間差の解析	大石 正道	北里大学・理学部物理学科・生物物理学講座
P-19	脱細胞化ゲルによる新規培養系の確立	小野 拓也	国立がん研究センター研究所 希少がん研究分野
P-20	OncoProGx～電気泳動法の未来を切り拓く革新的なソフトウェア	野口 玲	国立がん研究センター研究所 希少がん研究分野